

# 真・善・美

エコアクション21

〔2022年度〕

第49期 環境経営レポート

(2021年12月 ~ 2022年11月)

発行 2023年 2月28日

## 前出産業株式会社



## 〔目次〕

〔目次〕	・・・	1
〔事業活動概要〕	・・・	2
〔環境経営システム組織図〕	・・・	3
〔環境経営方針〕	・・・	4
〔環境経営目標と実績〕	・・・	5
〔環境経営計画の内容〕	・・・	6
〔環境活動の取組の結果と評価〕	・・・	7
〔代表者による全体の評価と見直し・指示 及び環境関連法規制への違反 訴訟の有無〕	・・・	8
〔環境保全活動写真〕	・・・	9

## 事業活動の概要

### □組織の概要

#### 名称及び代表者名

前出産業株式会社

<http://www.maede.co.jp>

E-mail : [info@maede.co.jp](mailto:info@maede.co.jp)

代表者 代表取締役 前出 博幸

設立 昭和48年12月1日

資本金 2,000万円

#### 所在地

本社 〒523-0015 滋賀県近江八幡市上田町1288-18

竜王事業所 〒523-2531 滋賀県蒲生郡竜王町山之上西出3453番地

野洲事業所 〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅686-1

#### 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 樋上 真吾 TEL:0748-37-1647

EA21事務局 樋上 真吾

担当者 小西 ひとみ TEL:0748-37-1647

担当者 宮内 太郎 TEL:0748-57-8177

#### 事業内容

電子部品受託製造業 金属加工業 電子部品請負製造業

#### 事業の規模

2022/11/30現在

	本社	竜王事業所	野洲事業所	合計
従業員(人)	44	6	80	130
延床面積(m <sup>2</sup> )	1,196.20	534.5	2,494	4224.7
総出荷額(百万円)	230	74	280	584

事業年度 12月から11月

#### 認証登録の対象組織・活動

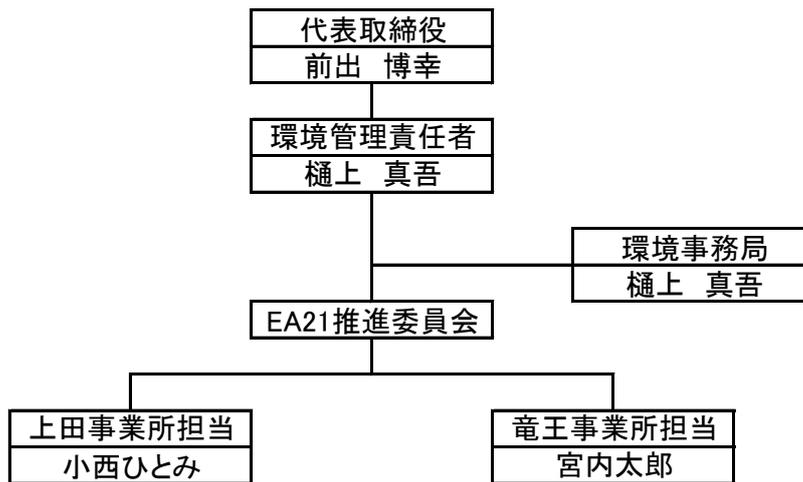
登録組織名 : 前出産業株式会社

関連事業所 : 竜王事業所

対象外 : 野洲事業所(但し、オムロンISO14001環境マネジメントシステムにて対応)

活動 : 電子部品受託製造業 金属加工業

## 前出産業株式会社 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムに関する統括責任。</li> <li>・代表者による経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> <li>・環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源の用意</li> <li>・環境管理責任者の任命。</li> <li>・環境経営方針の制定・見直し及び従業員の周知</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムを構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書を確認</li> <li>・環境経営システムの構築・運用状況を代表者に報告する。</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進会事務局</li> <li>・環境への負荷及び取組の自己チェックの実施。</li> <li>・全社環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成。</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく順守評価の実施。</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局へ送付)</li> </ul>
EA21担当責任者 (各事業所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施。</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知。</li> <li>・自部門の従業員に対する教育・訓練の実施。</li> <li>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>・特定された項目の手順書の作成及び運用管理。</li> <li>・特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録。</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

# 【環境経営方針】

## 基本理念

私達は、地球環境を守り、お客様に喜びを与え、地域社会に信頼される企業を目指します。

## 環境保全責任方針

私達の提供するサービスによって、モノは生まれてきます。これによって人々の物的暮らしを豊かにしていると確信しております。しかしながら一方では、地球資源をむさぼり、大切な自然を壊している事は言うまでもありません。その中で私達は、少しでも自ら出来る省資源活動、省エネ活動等の環境保全に取り組みます。また私達は資源循環型の製造サービスの提供にも挑戦していきます。

## 行動指針

1. 当社の事業活動に関連する環境関連諸法令を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
3. 環境負荷を軽減するため次の活動を実施します。
  - (1) 地球温暖化防止のため、省エネルギーを推進します。
  - (2) 事業活動に伴う廃棄物に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
  - (3) 全員で節水に心がけ、水使用量を削減します。
  - (4) 全員が地域環境活動に参加します。
  - (5) 環境循環型事業活動の積極的展開をおこなう。
  - (6) グリーン購入の推進を行います。
  - (7) 化学物質使用の管理を推進します。
4. 本環境経営方針は、教育や日常活動を通じて全従業員に周知します。

2019年 2月 20日  
代表取締役

前出 博幸



**MAEDE SANGYO**  
前出産業株式会社

## 環境経営目標とその実績

項目			年度	基準値	実績	
					47期	48期
				前出産業計	前出産業計	前出産業計
二酸化炭素排出量削減	電力	kg-CO2		96,971 37期基準	84,101	70,133
	自動車燃料	kg-CO2		25,877 33期基準	16,475	19,239
	暖房燃料	kg-CO2		0	0	0
	二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		122,848	103,576	89,372
廃棄物削減	紙使用量	kg		375 35期基準	243	216
	一般廃棄物	kg		560 34期基準	214.9	289.4
水使用量削減		m <sup>3</sup>		584 33期基準	464	435
グリーン購入	購入比率(%)			35% 37期基準	97.9%	95.1%
発製環 ・品境 ・配の ・販配 ・売慮 開慮	40期:開発・販売促進	点		240	270	270
貢社 献会	事業所	回数		12回	12回	12回
	地域活動	回数		2回	2回	

(暫定目標)

項目			年度	49期(2022年度)			50期	51期
				目標	実績		目標	目標
				基準年比	上田事業所	竜王事業所	前出産業計	基準年比
二酸化炭素排出量削減	電力	kg-CO2	85,334 88%	34,375	31,588	65,963 68.0%	84,365 87%	83,395 86%
	自動車燃料	kg-CO2	21,737 84%	16,597	917	17,514 67.7%	21,478 83%	21,219 82%
	暖房燃料	kg-CO2	—	0	0	0 —	—	—
	二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	107,071	50,972	32,505	83,477 68.0%	105,843	104,614
廃棄物削減	紙使用量	kg	326 84%	216	0	216 57.6%	319 83%	319 82%
	一般廃棄物	kg	492 85%	226.6	58.3	284.9 50.9%	482 84%	482 83%
水使用量削減		m <sup>3</sup>	508 84%	334	63	397 68.0%	496 83%	496 82%
グリーン購入	購入比率(%)		90%	97.1%		95.1%	90%	90%
発製環 ・品境 ・配の ・販配 ・売慮 開慮	開発・販売促進	点	240	270		270	240	240
貢社 献会	事業所	回数	12回	12回	12回	12回	12回	12回
	地域活動	回数						

※環境配慮型製品の販売は、39期まで台を40期より点(成約、見積、提案等を点数化)に変更する。  
 ※購入電力の排出係数は、0.378kg-CO2/kWh(東邦ガスのH28実績調整後排出係数)とする。  
 ※事業年度は12月から翌年11月まで

## 環境経営活動計画の内容

取組項目		活動計画の内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・昼休み時や不要な電灯の消灯
		・空調機の適正温度設定(作業場毎に温度計設置)
		・稼動してない設備の大気電力をCUT
		・コンプレッサーをタイマーにて稼動停止
		・外気を遮断
		・便座の温度設定を低レベルで
		・長期休暇中は動力電力をOFFにする
	自動車燃料使用量削減	・タイヤの空気圧チェック
		・急加速の厳禁
		・エアコンを控えめに
		・社有車での納品を宅急便へ
		・不要な荷物は載せない
		・エンジブレーキでの制動
		・エンジン回転数2000rpm以下での走行
廃棄物排出量削減	紙使用量の削減	・紙使用量の管理
		・電子化の推進
		・購入の一元管理
	一般廃棄物の削減	・裏紙利用
		・分別回収
		・リサイクルと再利用
水使用量削減	・トイレの水タンクの水位調節	
	・水漏れ箇所の補修	
	・女子トイレに擬音装置を設置	
	・洗い物をするときは水を垂れ流さない	
グリーン購入	・物品購入の際、グリーン購入を意識する	
	・年度別に目標値の設定を行う	
	・総合的な取り組みを意識する	
環境配慮製品の開発・販売促進	・目標値の設定を行う	
	・計画の立案	
	・提案営業に心がける	
社会貢献 地域環境活動の参画	・地域行事への積極的に行う	
	・広域清掃活動を計画する	
	・社会貢献を念頭に企業活動を行う	

## 環境活動の取組結果と評価

□49期(2021年12月～2022年11月)

取組項目		達成状況		単位	評価(結果と今後の方向)	
電気 使用 量 削 減	・空調機の温度設定	基準年度	96,971	kg-CO2	<b>目標達成</b> 待機電力の削減、レイアウトの変更による蛍光灯の間引き等対策が功を奏した。 環境への意識向上に向け来期も努力する。	
	・待機電力のCUT	目標	85,334			88%
	・外気遮断	実績	65,963			68.0%
	・各作業場に温度計設置					
	・コンプレッサー停止をタイマーで					
	・エコアイス水補給					
自動 車 燃 料 使 用 量 削 減	・タイヤ空気圧チェック	基準年度	25,877	kg-CO2	<b>目標達成</b> 軽自動車の採用、運転者の固定 常時エコ運転を心掛けた。 今後もエコドライブを推進する。	
	・エアコン控えめに	目標	21,737			84%
	・急加速の厳禁	実績	17,514			67.7%
	・納品は宅急便で					
	・不要な荷物は載せない					
	・エンジンプレーキでの制動					
二酸化炭素排出量合計		基準年度	122,848	kg-CO2	<b>目標達成</b> 問題なし	
		目標	107,071			87%
		実績	83,477			68.0%
廃 棄 物 排 出 量 削 減	紙使用量の削減	基準年度	375	kg	<b>目標達成</b> ペーパーレスに心がけ来期に向けて一層努力する。	
		目標	326			87%
		実績	216			57.6%
一般廃棄物の削減	基準年度	560	kg	<b>目標達成</b> 受注増にも関わらず分別回収の習慣化がつく。		
	目標	492			88%	
	実績	284.9			50.9%	
水使用量削減		基準年度	584	m <sup>3</sup>	<b>目標達成</b> 節水意識の向上による。 今後も節水に努める。	
		目標	508			87%
		実績	397			68.0%
グリーン購入		基準年度	90	%	<b>目標達成</b> 意識向上による。来期は購入品目を増やしたい。	
		目標	90.0%			-
		実績	95.1%			-
環境配慮製品の開発・販売促進		基準年度	-	台	<b>目標達成</b> 今期の計画を見直し、来期に期待する。	
		目標	240			-
		実績	270			-
社会貢献 地域環境活動の参画		基準年度	12回/2回	回(事業所/地域)	<b>目標達成</b> 意識向上による。 今後も継続推進する。	
		目標	12回			-
		実績	12回			-
<b>総括</b> 受注に対しての大きな変化なく、順調に活動にとりくむ事が出来た。 環境配慮製品については、来期の目標の立て方に改善を行う事。 全社員の意識向上が結果に結び付いた。これを踏まえ、来期についても一層の努力を行う事。						

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022年12月10日 前出 博幸

環境経営方針・目標・計画及び実施体制に変更は無し。

49期環境目標(二酸化炭素排出総量)も基準年比68.0%と、目標値は達成する結果となった。受注量や人員の増減等の他力的要因により影響が受けない様な、施策を考案する必要がある。環境活動も末端まで浸透してきているが、今まで以上に深く浸透するように努めて頂きたい。

2015年9月採決SDGsへの独自の目標を設定し企業活動を行う。

2021年7月 1日MLGsへの賛同表明し独自の目標設定し企業活動を行う。

我々も企業活動だけではなく、従業員の家庭においても活かされる様に教育をしなければならない。更なる環境活動を構築する事に期待する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

実施日:2023年 1月15日

法規制等の名称	要求事項・規制値	順守状況
騒音規制法	・特定施設の届出	問題なし
	・空気圧縮機7.5kw以上	
	・時間帯別騒音値の規制	
騒音規制法	・特定施設の届出	問題なし
	・空気圧縮機7.5kw以上	
	・時間帯別騒音値の規制	
廃棄物の処理及び清掃に関する法	・産業廃棄物の保管基準	順守
	・産業廃棄物の委託基準	
	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理	
	・産業廃棄物管理票交付状況報告	
浄化槽法	・設置の届出	順守
	・定期検査(1回/年)	
	・保守点検(1回/3ヶ月)	
消防法	・防火管理者の選任と届出	危険物の保管数量は指定数量1/5未満のため非該当
	・危険物指定数量1/5以上、指定数量未満は消防長へ届出	
水質汚濁防止法	工場での事故等による汚濁水排出時の応急処置と概要の届出	非該当
電気事業法	事業用電気工作物を経済産業省令で定める技術基準に適合するように維持	順守
資源有効利用促進法	指定再商品化製品について、事業者の自主回収、再資源化に協力	問題なし
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易点検(年4回)	順守

環境関連法規への違反はありません。なお関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。引続き法令順守の維持に努めます。

## 地域環境貢献活動

第49期についても、新型コロナウイルス蔓延により、全体での活動は中止した。

### 活動実績

12月14日 前出産業周辺 環境保全活動

#### 15名が参加し 約15分間の環境活動

可燃ごみ 0,9kg

不燃ごみ 0,1kg

ペットボトル 15本

アルミ缶 3缶

4月12日 前出産業周辺 社外環境保全活動

#### 17名が参加し 約15分間の環境活動

可燃ごみ 1,9kg

不燃ごみ 0,3kg

ペットボトル 11本

アルミ缶 5缶

10月10日 前出産業周辺 社外環境保全活動

#### 19名が参加し 約15分間の環境活動

可燃ごみ 2,1kg

不燃ごみ 0,6kg

ペットボトル 21本

アルミ缶 8缶